



## ビッグレスキューかながわ

9/21、ビッグレスキューかながわ（平成25年度神奈川県・平塚市合同総合防災訓練）が行われました。

広域的な災害応援体制をつくり、防災意識を高めるため、昨年から実施されている「ビッグレスキューかながわ」。

昨年は横須賀市で、今年は平塚市で開催。

会場は湘南海岸公園をメイン会場に、会場近くの学校、病院などで29の訓練が実施されました。



本部席に向かう途中には、展示・体験コーナー。家族連れで賑わっていました。

県西部を震源とするマグニチュード7.5の地震の発生を想定し、地元自治会や消防・警察・海上保安庁・自衛隊・在日米軍・DMAT指定病院・医療関係機関など約100機関の参加、協力を得て、

- ①広域医療搬送訓練（SCU設置運営訓練）
- ②自衛隊医療関係部隊と他の医療関係機関が連携する医療救護活動

③在日米軍医療チームの輸送及び医療救護活動

④第三管区海上保安本部巡視船「いず」で行う医療救護活動

⑤広域応援部隊に寄る救出救助、災害救助犬を活用した救出救助

⑥海上自衛隊LCAC（ホバークラフト）による救出救助部隊の海上輸送などの訓練が行われました。

10/6、浦賀の住友重機工場内で「横須賀市総合防災訓練」が行われました。

実働訓練は、ヘリコプターでの訓練以外、その迫力と真剣さは「ビッグレスキューかながわ」に拮抗していました。

防災力・防災意識の向上を目指して行われた総合防災訓練。

減災には、自助・共助・公助のそれぞれが災害対応力を高め、連携する事が大切です。町内会の防災訓練に参加するのはもちろん、このような訓練を是非、家族で見学して頂きたいと思います。



## 湘南の海のたからもの

本年度途中から6次産業化支援事業が県に移管されました。

〔6次産業化とは1次産業である農林水産業が加工（2次産業）、流通・販売（3次産業）と一体化・連携して地域の農林水産物を活用した新商品の開発を行う事などにより付加価値を高める取り組みのことです。〕



これを機に本定例会において補正予算が計上されました。そこで関連の4事業所を視察しました。

最後は地元、横須賀の佐島へ（9/28）。網元・平敏丸さんにお話を伺いました。

佐島の平敏丸は毎朝出漁し、獲立ての生しらす、釜揚げ

げ&天日干ししらすなどを直売しています。

佐島の目の前の相模湾でとれる佐島しらすは「湘南しらす」として有名で、かながわ名産100選にも認定されている逸品です。

「もともと、漁業は6次産業だから・・・」とご主人。

日の出とともに出漁し、沖で捕れたしらすをすぐにタレに漬け込んだ「生しらすの沖漬け」、絶妙な塩加減、茹で時間、干し加減の「釜あげしらす」、生しらすを干し上げた「たたみいわし」、その他、佐島の海の有機野菜、わかめ・めかぶ・釜あげひじき・あかもくetc.自獲、自加工です。

新商品はブログで紹介するなど、積極的に事業を展開していらっしゃいます

（Facebook・HPも日々発信。イベントにも、もちろん参加！）

魚の値が安いので、加工して直売する、ブランド化を図る。時化で海に出ることが出来なくても店頭商品が並んでいる……やる気のある漁師さんにとって、6次産業化はプラスの要素が多いようです。

農林水産省の6次化認定を昨年6月に受けた「平敏丸漁業」。お話を伺ったあと、直売所でお買い物をして、佐島をあとにしました。

今回は、環境農政常任委員会での質問のため、佐島の網元をはじめ、大和市のいちご農家、綾瀬市の養豚家、横浜市瀬谷区の乳牛牧場を調査させて頂きました。（質問するなら、現地を見て話を伺い、問題意識を持つこと！が私のモットー。現場主義を買います！）

岩本議員と情報も共有出来、常任委員会に臨めました。

他の3事業所のレポートは、私のブログでご紹介しています。

